

コヌカグサ (小糠草)

名前の意味：実が糠ぬかのように小さな草という意味。

分類：単子葉類、イネ科、ヌカボ属

(イネ科の栽培植物さいばいしょくぶつ：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、牧草地ぼくそうち

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ユーラシア

特徴：斜めに立ち上がる茎くき、小さな小穂が集まって花火のように見える

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2枚 (小さくて目で見てもよくわからない)、離弁りべん (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：5—6月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：コスズメガヤとは、穂ほが1つの花からなることで区別できる。

見つけやすさ ★★★★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度 ★★★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)